

平成31年度に向けた経営戦略部の施策の基本方針

～県庁を支える基盤（ヒト・モノ・カネ・情報）の「最適化」と「強靱化」～

平成30年11月定例会（付託）
総務委員会資料
経営戦略部

時代の潮流・課題

- (1) 人口減少の進行 → 組織・職員体制の効率化
- (2) 働き方改革の推進 → 超過勤務の縮減
- (3) 厳しい財政状況 → 財政構造改革の着実な推進
- (4) 県有施設の老朽化 → 維持管理コストの増加と安全性の確保
- (5) 情報利用環境の変化 → 新たなツール・コンテンツによるPR



10年後の目指すべき姿

- (1) 質的向上を重視した組織・職員体制の構築
- (2) 全ての職員が働きやすい職場環境の実現
- (3) 強靱でしなやかな財政基盤の確立
- (4) 施設の長寿命化と有効活用の実現
- (5) 知名度の向上と交流の活性化

【施策の方向性】

1 情報ツールを活用した新たな「徳島スタイル」の創出（ヒト・情報）

（ヒト）

- ・長時間労働の是正・生産性の向上
- ・情報端末を活用した柔軟な働き方の実現



（情報）

- ・新たな「徳島ファン」の獲得
- ・海外に向けた情報発信の更なる強化



2 新未来の創造を支える財源の確保（カネ・モノ）

（カネ）

- ・政策創造と健全財政の両立
- ・県税収入の確保



クラウドファンディングの推進

（モノ）

- ・公共施設の長寿命化と機能強化の実現
- ・官民連携による資産活用力の向上



PFIによる整備

【基本的な視点】

県民目線

現場主義

スピード重視

生産性の高いサービスの提供，県民満足度の向上！